第66回デメンシアカンファレンスを開催

2020年11月24日

１１月２４日（火）に福井大学が担当する北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）「第６６回デメンシアカンファレンス」を開催しました。

今回のカンファレンスは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行の拡大を踏まえ、集合形式＋テレビ会議システムによる開催を見合わせ、Web上で開催しました。

「臨床症状と画像検査で解離した所見であった認知症の高齢者女性」のタイトルで、福井大学からの症例報告で進められ、活発に質疑応答や意見交換が行われました。

症例発表の様子とスライド

第 66 回ディメンシアカンファレンス報告要旨

『臨床症状と画像検査で乖離した所見であった認知症の高齢者女性』

発表者：眞田康雄（福井大学医学部精神医学）
司　会：上野幹二（同上）

【要　旨】

症例は 86 歳女性。元来明るい性格。中学卒業後、学生寮での炊事業務に就き、20 歳前半に結婚し、1 男 2 女をもうけた。2019 年 11 月に夫が病死、一人暮らしとなった。

X-1 年 11 月に夫が病死し、気分の落ち込みを感じたが、家事や畑仕事は問題なくこなし、短期間で改善した。X 年 1 月、夜間に「女の子が家に入ってきている」「小さな動物がいる」「夫がベッドで寝ている」と訴え、人が家の中にいると思うと落ち着かず、寝付きも悪くなった。X 年 5 月には昼間にも人が見え、「カタカタ」という杖を突くような音が聞こえるようになった。長男夫婦が「人が見えても、その人は悪さはしないよ」と本人に話をしてからは安心して眠られるようになったが、幻視と幻聴は持続した。かかりつけ医を受診し、簡易認知機能検査では MMSE　25/30（計算による失点のみ）であったが、幻覚症状を認めることからレビー小体型認知症を疑われ、精査加療目的に X 年 6 月当科に入院となった。

入院中の様子からは、明らかな認知機能の変動性は認めず、夕方以降に物音に過敏になる傾向があった。頻回の寝言、立ち眩みや便秘が認められた。動作はやや緩慢、アームスイングはやや低下していたが、安静時振戦、筋強剛、姿勢反射障害はなく、病的反射も認めず。ADAS-Jcog は軽度～中等度の認知機能の低下、ノイズ版パレイドリアテストは 15%(40 問中 6 問誤答)であった。頭部 MRI では年齢相応のびまん性の脳萎縮と白質に慢性虚血性変化を認めた。脳血流検査では、前頭葉と側頭葉の血流低下を認めた。DaT SPECT では SBR が両側 2.5 であったが、年齢を考慮し正常域下限と考えた。MIBG 心筋シンチグラフィーでは H/M 比は低下、Washout も亢進、集積の有意な低下を認めた。画像検査からは、レビー小体型認知症よりも前頭側頭型認知症を積極的に疑う所見であった。

診断基準に照らし合わせると、前頭側頭型認知症は、臨床症状が該当せず診断基準を満たさなかった。一方、レビー小体型認知症は、診断基準から probable　DLB と診断された。アリセプトを開始し、幻視の頻度は減少し、日中には見られなくなった。

今回の症例では、脳血流検査や DaT SPECT の検査結果はほぼ陰性、明らかなパーキンソニズムも認めず。しかし、その他の臨床症状と MIBG 心筋シンチグラフィーの結果からは DLB の診断基準を満たしており、比較的稀なタイプの DLB 症例と遭遇した。

・質問・意見

質問①　脳血流の前頭葉と側頭葉の低下は脳の萎縮による影響はないか？

回答①　3D-SSP を使用しており、他の検査法に比べ脳の萎縮による影響は小さいであろう。

質問②　DaT SPECT 結果は低値なのか、正常域なのか？

回答②　当院核医学部門専門医にも確認した結果、正常域下限と考えた。

NINPRO

北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）

第66回デメンシアカンファレンス（Web）

2020年11月24日（火）18:30～

「臨床症状と画像検査で
解離した所見であった認知症の高齢者女性」

発表者：福井大学医学部精神医学　眞田康雄
担　当：福井大学
対　象：認プロ参加施設及びその他の施設の
医療関係者（医療系大学の学生含む）

【参加方法】
個人のパソコンからWeb会議システム（WebEX）を使用

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行の拡大を踏まえ、当面の間、集合形式＋テレビ会議システムによるデメンシアカンファレンス開催を見合わせ、代わりにWeb上で開催します。カンファレンス後にWeb上で質疑をします。

・教育コース履修者、メディカルスタッフe-learning講座の登録者、認プロ参加施設の各委員・事務担当者には、事前に北陸認プロ運営事務局からメールで参加案内をお送りします。案内状のメールに従って会議にご参加下さい。

・教育コース履修者の出席はオンライン画面にて北陸認プロ運営事務局が確認します。

・上記以外で参加を希望される方は11月23日までに氏名とメールアドレスを北陸認プロ運営事務局までお知らせください。
（ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp）

【お問い合わせ先】
北陸認プロ運営事務局　〒920-8640　金沢市宝町13番1号
TEL:076-265-2149　FAX:076-234-4208　E-mail:ninpro@adm.kanazawa-.ac.jp URL:http://ninpro.jp/